

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 小学校

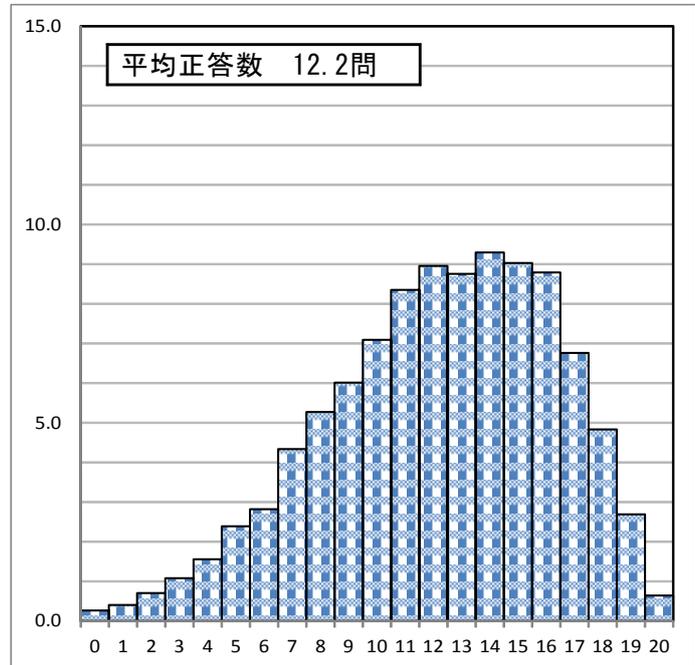
(1) 国語

【第3学年】

実施児童数	10,933 人
設問数	20 問
平均正答率	61.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	64.0
	主として「活用」	3	44.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	75.1
	書くこと	2	37.2
	読むこと	8	55.0
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	9	66.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	75.1
	書く能力	2	37.2
	読む能力	7	56.9
	言語についての知識・理解・技能	8	65.6
問題形式	選択式	5	55.5
	短答式	12	67.4
	記述式	3	45.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



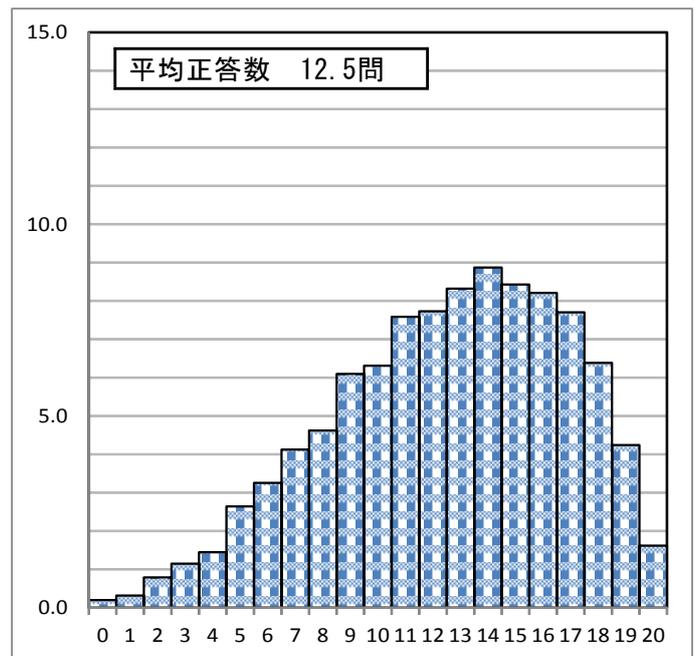
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	11,063 人
設問数	20 問
平均正答率	62.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.0
	主として「活用」	5	43.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	43.2
	書くこと	4	46.4
	読むこと	7	59.7
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	10	75.0
評価の観点	話す・聞く能力	3	43.2
	書く能力	3	49.8
	読む能力	4	55.7
	言語についての知識・理解・技能	10	75.0
問題形式	選択式	6	64.0
	短答式	10	70.4
	記述式	4	41.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



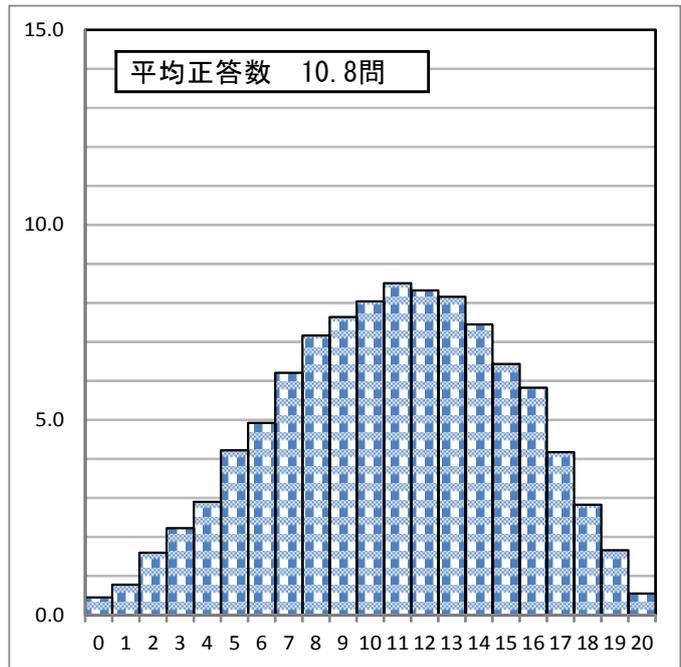
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,974 人
設問数	20 問
平均正答率	54.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	58.1
	主として「活用」	3	30.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	43.5
	書くこと	5	47.4
	読むこと	6	52.9
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	9	57.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	43.5
	書く能力	5	47.4
	読む能力	4	59.7
	言語についての知識・理解・技能	9	57.5
問題形式	選択式	10	59.8
	短答式	6	61.8
	記述式	4	27.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



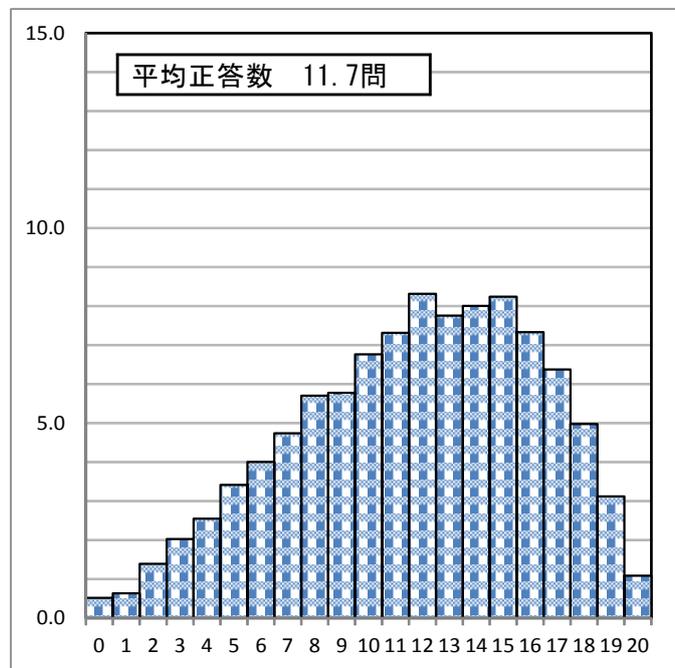
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,873 人
設問数	20 問
平均正答率	58.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	62.6
	主として「活用」	5	46.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	61.7
	書くこと	4	42.6
	読むこと	9	61.5
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	54.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	61.7
	書く能力	3	39.7
	読む能力	6	72.4
	言語についての知識・理解・技能	8	54.2
問題形式	選択式	8	69.0
	短答式	9	55.9
	記述式	3	38.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「公園（こうえん）」（小3¹—1：95.9%）
 - ・「注目（ちゅうもく）」（小4¹—1：94.2%）
 - ・「緑茶（りょくちゃ）」（小5¹—2：87.2%）

- グラフや表を基に必要な情報を読み取ることについて、成果が見られる。
 - ・グラフから読み取れる内容を選択（小6⁴—1：88.7%）

- 筆者の説明の意図を捉えることについて、相当数の児童ができています。
 - ・筆者の表現の意図について、最も適切な文を選択（小6³—1：81.6%）

- 同音異義の漢字を書くことについて、課題が見られる。
 - ・「いがい（意外）」（小5¹—3：47.0%）
 - ・「おさまる（治まる）」（小6¹—4：59.2%）

- 接続語を用いて文を二つに分けることについて、課題が見られる。
（小5²—二：19.1%、小6¹—五：36.0%）

- 目的に応じ、中心となる語や文を捉えることについて、課題が見られる。
（小3³—四：40.1%、小4³—二：39.0%、小5³—一：39.5%）

- 目的や意図に応じて必要な内容を整理して書くことについて、課題が見られる。
 - ・必要な内容を二つ取り上げて整理して書くこと
（小5⁴—三：25.7%、小6⁴—二：47.9%）
H29小6 全国調査（県平均）35.3% 「目的や意図に応じて必要な内容を整理して書く」

- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・自分の考えを具体的に書くこと
（小3⁴—四：32.4%、小4⁴—四：41.6%、小5⁵—三：31.1% 小6⁵—二：17.5%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語 【小学校3・4年生】

(小学校3・4年生)

- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。

あなたは、このお話を読んで、どんな感想をもちましたか。あとのじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 「海」「かんのんさま」ということばをつかって書くこと。
- 五十字いじょう、七十五字いないにまとめて書くこと。

【正答例】

海の中に重い石を何回もなげこんだのに、また、あみにかかったことがふしぎでした。そして、まくらもとにかんのんさまがでてきたところがおもしろかったです。

小3 : 32.4%

四年一組では、話し合った内ようをもとに、二分の一成人式の案内じょうを書くことになりました。あなたならどのような案内じょうを書きますか。次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 話し合った内ようをもとに、来てほしいという気持ちを伝えること。
- 二文以上で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内で書くこと。

【正答例】

二分の一成人式では、一人一人がしょう来のゆめを発表します。わたしたちのスピーチを楽しみにしてください。もみじの合唱もしますので、ぜひ見に来てください。

小4 : 41.6%

(小学校4年生)

- 目的に応じ、中心となる語や文を捉えることについて、課題が見られる。

これと反対に、秋も深まり、そろそろ寒くなってくるころ、(あ)の国からやってきて冬をすごし、春にはまた北へ帰って行く鳥たちを冬鳥といいます。

(あ)にあてはまる言葉を書きましょう。

【正答】 北

小4 : 39.0%

国語 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

- 接続語を用いて文を二つに分けることについて、課題が見られる。

秋本さんは、北村さんの「二つの文を分けてみたらどうだろう。」という助言を聞いて、【秋本さんのスピーチ練習の様子】の②の文を、「そして」というつなぎ言葉を使って、二文に分けることにしました。書き直したときの一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「そして、」に続く七文字を書きましょう。

【正答】 で読めます。(そして、)好きだったとこ

小5 : 19. 1%

(小学校5年生)

- 目的や意図に応じて必要な内容を整理して書くことについて課題が見られる。

小松さんたちは、水道局をたずねて聞いた【水道局の方のお話】をもとに、【節水作戦への協力のお願い】の [] の部分を書いています。次の [] の中の **B** に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 数多くのポスター作りが必要な理由を【水道局の方のお話】から二つ取り上げて書くこと。
- 【節水作戦への協力のお願い】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しに続けて、五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

できるだけ多くの人に見てもらふことや、水を使う場所ではどこでも節水を思い出せるようにすることが大切だからです。

小5 : 25. 7%

(小学校6年生)

- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。

【話し合いの様子の一部】の中の **A** のところで、木村さんは、【山口のむかし話「びやく雲寺のごとう」】の言葉や文を取り上げながら、ごとうの心情が変化したと考えられる行動について話しています。あなたが木村さんならどのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- [] の南さんのように、【山口のむかし話「びやく雲寺のごとう」】からごとうの心情が変化したと考えられる行動を取り上げて書くこと。
- 取り上げた行動から、どうしてごとうの心情が変化したと考えられるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

びやく雲寺の方を見て「ほんの少し頭を下げると」と書いてあるよ。おしょうさんが自分のためにやさしくしてくれたことに気づいたから、あやまったと考えることができるよ。

小6 : 17. 5%

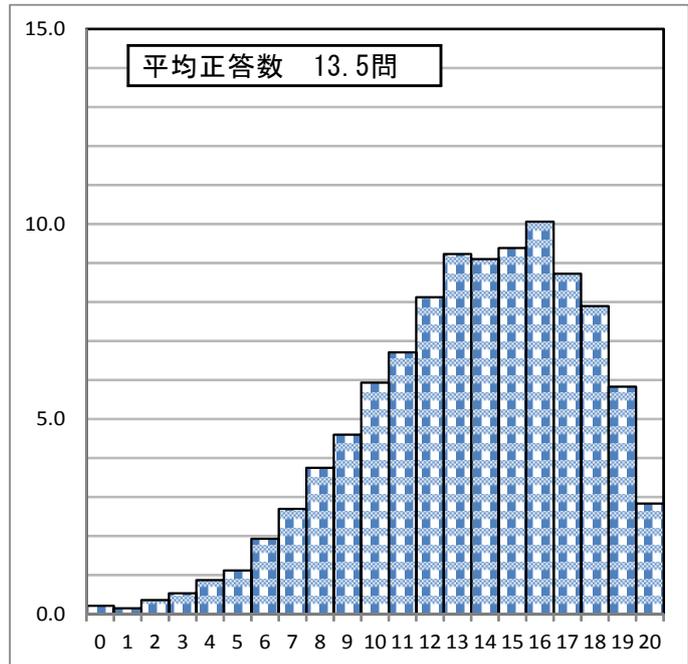
(2) 算数

【第3学年】

実施児童数	10,945 人
設問数	20 問
平均正答率	67.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	74.9
	主として「活用」	6	50.3
学習指導 要領の 領域等	数と計算	10	76.9
	量と測定	4	67.5
	図形	3	59.2
	数量関係	3	44.7
評価の 観点	数学的な考え方	6	50.3
	数量や図形についての技能	8	82.2
	数量や図形についての知識・理解	6	65.3
問題形式	選択式	2	50.4
	短答式	16	72.6
	記述式	2	44.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



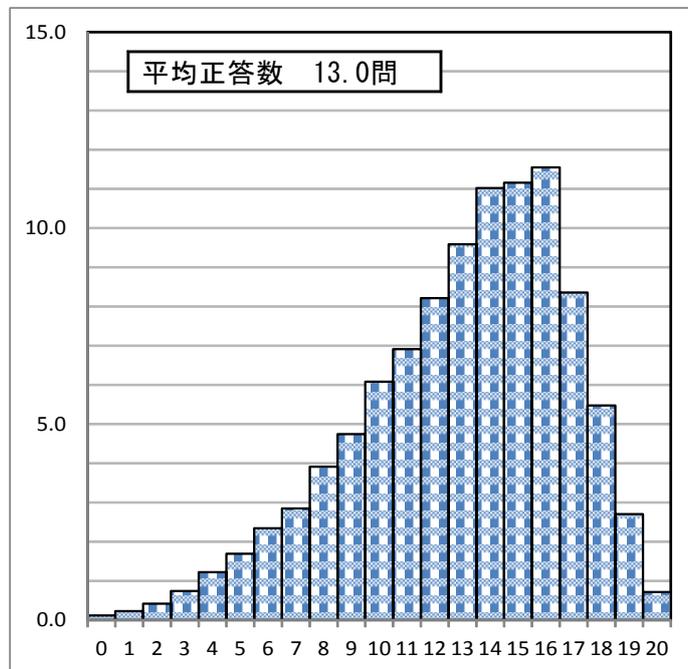
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	11,070 人
設問数	20 問
平均正答率	64.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	80.1
	主として「活用」	9	46.3
学習指導 要領の 領域等	数と計算	7	76.9
	量と測定	4	76.5
	図形	2	39.1
	数量関係	7	53.5
評価の 観点	数学的な考え方	9	46.3
	数量や図形についての技能	8	83.7
	数量や図形についての知識・理解	3	70.3
問題形式	選択式	3	52.5
	短答式	14	76.0
	記述式	3	25.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



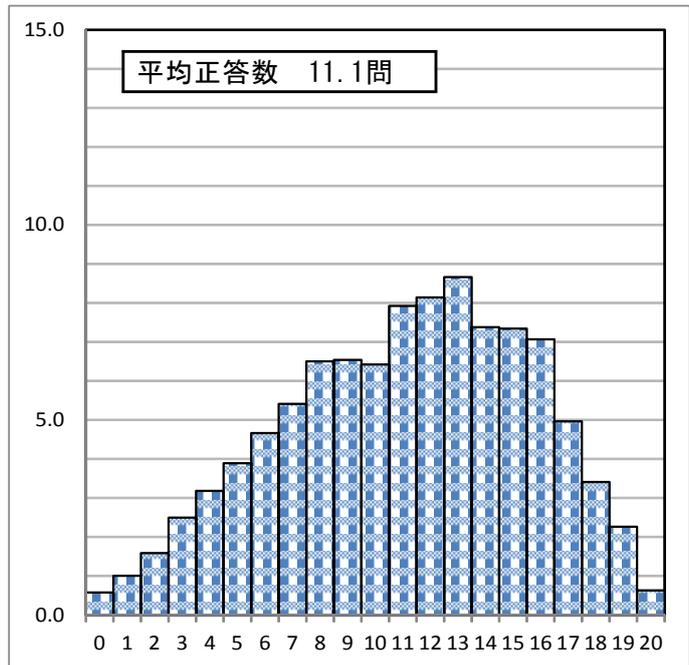
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,983 人
設問数	20 問
平均正答率	55.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	61.5
	主として「活用」	6	41.4
学習指導要領の領域等	数と計算	8	57.8
	量と測定	3	63.0
	図形	2	73.2
	数量関係	7	44.5
評価の観点	数学的な考え方	6	41.4
	数量や図形についての技能	7	63.3
	数量や図形についての知識・理解	7	59.7
問題形式	選択式	7	51.0
	短答式	10	62.2
	記述式	3	43.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



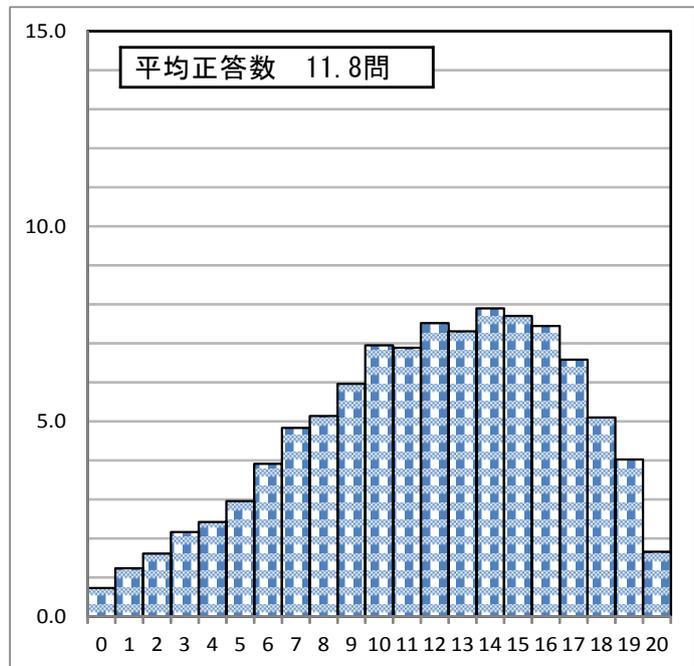
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,867 人
設問数	20 問
平均正答率	58.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	64.0
	主として「活用」	5	43.3
学習指導要領の領域等	数と計算	8	64.2
	量と測定	3	52.6
	図形	2	32.0
	数量関係	7	63.0
評価の観点	数学的な考え方	4	46.5
	数量や図形についての技能	9	60.4
	数量や図形についての知識・理解	7	63.8
問題形式	選択式	3	56.3
	短答式	14	61.5
	記述式	3	48.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みの理解に成果が見られる。
 - ・ 除法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (4) : 94.7%)
 - ・ 余りのある除法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (3) : 85.5%)
 - ・ 同分母の分数の加法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (5) : 92.8%)
 - ・ 末尾のそろっていない小数の減法の計算をすること (小6 $\boxed{2}$ (1) : 82.5%)
 - ・ 十進位取り記数法について理解していること (小3 $\boxed{2}$ (1) : 89.7%)
 - ・ 乗法九九を用いて、乗数を求めること (小3 $\boxed{3}$ (1) : 97.1%)

- 数量関係や図形の基本的な内容の理解に成果が見られる。
 - ・ 長さについての感覚を身に付けていること (小3 $\boxed{4}$ (2) : 90.6%)
 - ・ 二次元表の見方を理解していること (小4 $\boxed{5}$ (1) : 90.6%)
 - ・ 分度器を用いて、90度よりも小さい角の大きさを求めること (小4 $\boxed{8}$ (1) : 92.5%)

- 余りのある小数の除法、体積についての量感、複合図形の求積、二次元表を読み取ること
に課題が見られる。
 - ・ 除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めること (小6 $\boxed{2}$ (3) : 28.8%)
 - ・ かさについての感覚を身に付けていること (小3 $\boxed{4}$ (1) : 39.4%)
 - ・ 円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めること (小6 $\boxed{7}$ (2) : 30.5%)
 - ・ 二次元表の中の数が表す事柄を読み取ること (小4 $\boxed{5}$ (3) : 37.0%)

- 数量の関係を数直線に表すことや、式に適した問題場面を選択することに課題が見られる。
 - ・ 小数の除法の問題場面を理解し、数直線に表すこと (小5 $\boxed{3}$: 19.6%)
 - ・ 除法の意味について理解し、示された除法に適した問題場面を選択すること (小3 $\boxed{9}$: 29.4%)

- 割合の見方の基礎や基準量、比較量、割合の関係を捉えることに引き続き課題が見られる。
 - ・ 除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述すること (小3 $\boxed{8}$ (1) : 39.4%, 小4 $\boxed{6}$ (1) : 64.0%)
 - ・ 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断すること (小5 $\boxed{10}$ (1) : 28.0%)

- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに引き続き課題が見られる。
 - ・ 繰り下がりのある減法の計算方法を活用して、□に当てはまる数の求め方を記述すること (小3 $\boxed{7}$: 37.9%)
 - ・ 三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述すること (小4 $\boxed{7}$: 8.5%)
 - ・ グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを読み取り、違いを記述すること (小4 $\boxed{9}$ (1) : 23.3%, 小5 $\boxed{11}$ (1) : 30.2%)
 - ・ 点対称の定義を用いて、対象の中心を求める方法を記述すること (小6 $\boxed{6}$: 31.8%)
 - ・ 値引きによって1番値段が安くなる理由を記述すること (小6 $\boxed{8}$: 42.3%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

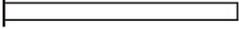
※ ○は成果、●は課題を示している。

算数 【小学校3・4年生】

(小学校3・4年生)

- 除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述することに課題が見られる。

8 赤色、青色、黄色のテープがあります。それぞれのテープの長さは、次のとおりです。

・赤色のテープの長さは	6 m	
・青色のテープの長さは	<input type="text"/> m	
・黄色のテープの長さは	16 m	

(1) 黄色のテープのちょうど半分の長さが、青色のテープの長さです。青色のテープの長さは、何mですか。もとめる式と答えを書きましょう。

【正答】式 $16 \div 2 (=8)$
答え 8m

小3 : 39.4% 小4 : 64.0%

(小学校3年生)

- 除法の意味について理解し、示された除法に適した問題場面を選択することに課題が見られる。

9 下の問題の中で、 $8 \div 4$ の計算をすると、答えがもとめられるものは、どれですか。

アからエまでの中からすべてえらんで、その記号を書きましょう。

ア ゆみさんは、4人の友だちに8こずつあめをくぼろうとしています。

あめは、全部でいくつひつようですか。

イ チョコレートを4人で同じ数ずつ分けます。チョコレートは、全部で8こあります。

1人分は、何こになりますか。

ウ くぼりもの係のひとみさんは、持っていたノートのうち、8さつをくぼりました。すると、のこりは4さつになりました。

はじめに持っていたノートは、何さつですか。

エ 8cmのリボンがあります。

リボンを4cmずつに切ると、何本になりますか。

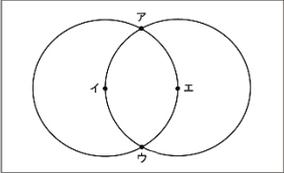
【正答】イ、エ

小3 : 29.4%

(小学校4年生)

- 三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述することに課題が見られる。

7 下の図のように、2つの円があります。それぞれの円の中心、点イ、点エを、もう1つの円のまわりが通っています。2つの円のまわりが交わった点を、点ア、点ウとします。



たろうさんとめぐみさんは、図を見て次のように話しています。

たろう: 図の点ア、点イ、点ウ、点エの4つの点のうち、3つの点を選んで結ぶと三角形ができるね。

めぐみさん: わたしは、点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結んでみるわ。どんな三角形ができるかしら。

たろうさん: その3つの点を選んで結ぶと、二等辺三角形だよ。

たろうさんは、点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結ぶと、二等辺三角形ができると言っています。

点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結ぶと、なぜ二等辺三角形ができるのでしょうか。そのわけを書きましょう。

【正答例】
 辺エアと辺エウは、点エを中心とする円の半径で、同じ長さです。三角形エアウは2つの辺の長さが同じだから、二等辺三角形です。

小4 : 8.5%

算数 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

● 小数の除法の問題場面を理解し、数直線に表すことに課題が見られる。

3 1.2mの重さが1.8kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう1mの重さを求めます。
さくらさんは、 $1.8 \div 1.2$ をすればよいことを、次のようにして考えました。

さくらさんの図

さくらさんは、下のような図をかいて考えました。
「1mあたりの重さの□」、「長さの1.2」、「重さの1.8」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

1mあたりの重さを□kgとして、鉄のぼうの長さ¹と重さの関係を図に表したよ。

さくらさん

【正答】「1mあたりの重さの□」 ア 「長さの1.2」 エ 「重さの1.8」 イ

小5 : 19.6%

(小学校5年生)

● 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することに課題が見られる。

10 さとしさん、しおりさん、りょうたさんの3人は、ヒマワリを育てています。3人でヒマワリの高さをくらべました。しおりさんのヒマワリの高さは、さとしさんのヒマワリの高さの0.8倍だそうです。

(1) 「さとしさんのヒマワリの高さ」を , 「しおりさんのヒマワリの高さ」を として、図に表します。「さとしさんのヒマワリの高さ」をもとにして「しおりさんのヒマワリの高さ」が0.8倍であることを表しているものを、下のアからエの中から1つ選んで、記号を書きましょう。

【正答】エ

小5 : 28.0%

(小学校6年生)

● 値引きによって1番値段が安くなる理由を記述することに課題が見られる。

8 ひろしさんは、くつを買いに行きました。
ひろしさんが選んだくつの定価は、1800円です。
ひろしさんは、下のアからウまでの値引き券を持っています。1つの買い物で使えるのは、1枚¹だけです。

ひろしさんは、値段がいちばん安くなる値引き券を使うことにしました。
どの値引き券を使うと、ひろしさんはくつをいちばん安く買えますか。アからウまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。
また、いちばん安く買えるわけを言葉や式を使って書きましょう。

ア	イ	ウ
どのくつでも 200円引き!	2000円までのくつ すべて1500円!	定価の 20%引き!

【正答例】
アの券を使うと、 $1800 - 200 = 1600$ で、1600円になります。
イの券を使うと、1800円は2000円より安いので、1500円になります。
ウの券を使うと、 $1800 \times (1 - 0.2) = 1440$ で、1440円になります。
1600円と1500円と1440円では1440円がいちばん安いので、ウの券を使うと、いちばん安く買えます。

小6 : 42.3%

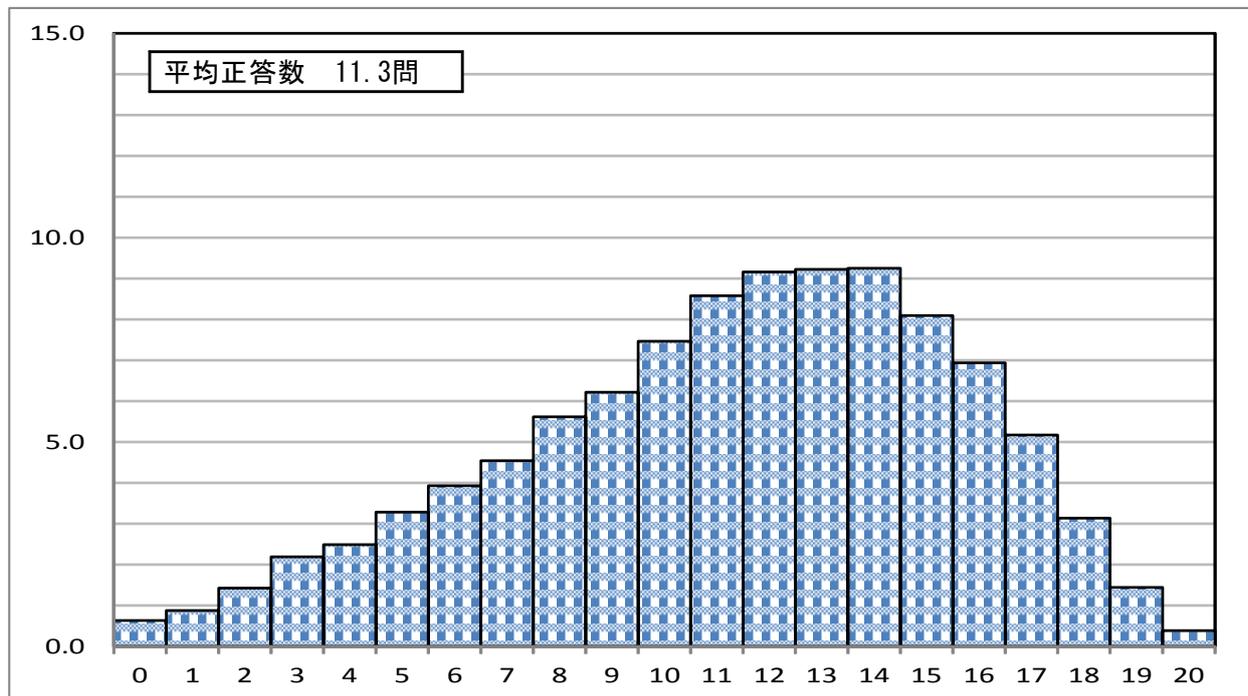
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,973 人
設問数	20 問
平均正答率	56.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	62.6
	主として「活用」	7	45.6
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	3	57.1
	地域の生産や販売	2	68.4
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	3	69.7
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	49.1
	我が国の国土	3	55.4
	我が国の農業や水産業	5	44.3
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	5	44.1
	資料活用の技能	6	60.5
	社会的事象についての知識・理解	9	61.0
問題形式	選択式	8	60.9
	短答式	8	60.1
	記述式	4	41.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 地図の基本的な約束事に関しては、知識・理解及び資料活用の技能の定着が見られる。
 - ・ 地図記号が表している建造物を選ぶこと (1)(1)91.9%
 - ・ 縮尺を理解し、地図を見て、実際の距離を求めること (1)(2)79.4%
- 買い物調べなど、学習の対象が身近な場合には、知識の定着が見られるとともに、資料活用の技能についても一定の成果が見られる。
 - ・ 買い物調べの意図を理解し、調査結果を表にまとめること (2)(1)80.5%
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに課題が見られる。
 - ・ 工場の立地について、輸送と関連付けて説明すること (1)(3)31.4%
 - ・ 米粉を活用する取組について必要な情報を読み取り、的確に表現すること (7)(2)18.6%
- 条件に合う都道府県の名前を答えることに、引き続き課題が見られる。
 - ・ 条件に合う都道府県（山形県のとなりにある県）の名前を答えること (6)(2)39.9%
- 県内の市町の位置及び名前に関する知識の定着に、引き続き課題が見られる。
 - ・ 県内の市の数を答えること (4)(2)42.4%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。

社会 【小学校5年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに課題が見られる。

<自分たちが住んでいる市の一部を表した地図と、その地図を見ながら児童が話し合っている様子をを提示>

- (3) この話し合いで、まなぶさんは海岸線がまっすぐであることのよさを発表しています。物を運ぶことに注目して、「海岸線がまっすぐだと、」に続く「イ」の中の文を考え、まなぶさんの発表を完成させましょう。

【正答例】

- (3) (海岸線がまっすぐだと、) 船が入りやすくなり、工場で使う原料や工場で作ったせい品を運ぶのに便利だよ。

小5 : 31.4%

- (2) みほさんは資料3を見て、米の消費量を増やすために「米粉」を活用する取組を考えています。【みほさんのまとめノート】の米の消費量を増やすための提案に入る文を書きましょう。ただし、米粉の持ちょうと課題をふまえて書くこととします。

【みほさんのまとめノート】

米の消費量を増やす → 米粉をもっと使う！

米粉とは、米を原料とした粉末のこと。

米粉の持ちょう	米粉を使った商品の例
<ul style="list-style-type: none">○ 小麦粉の代わりとして、パンやめん、ケーキにも使える！○ 米粉でパンやめんをつくると、もちもちした食感になる！○ 栄養のバランスがよい！	<p>近所のスーパーマーケットで調べてみました。</p> <ul style="list-style-type: none">・米粉パン(1個) 300円・米粉うどん(1ふくら)220円・米粉パスタ(1ふくら)230円

米粉の課題

△小麦粉の商品より数も種類も少ない。
△小麦粉の商品よりもねだんが少し高い。



【正答例】

- (2) 栄養のバランスのよい米粉の商品の種類を増やし、たくさんの人に食べてもらえるようになれば、米の消費量を増やすことができますと思います。

小5 : 18.6%

- 条件に合う都道府県の名前を答えることに課題が見られる。

- (2) 資料2の~~~~~ (=山形県) のとなりにある県の名前を二つ書きましょう。

【正答】 宮城県、秋田県、福島県、新潟県の中から二つ (完答)

小5 : 39.9%

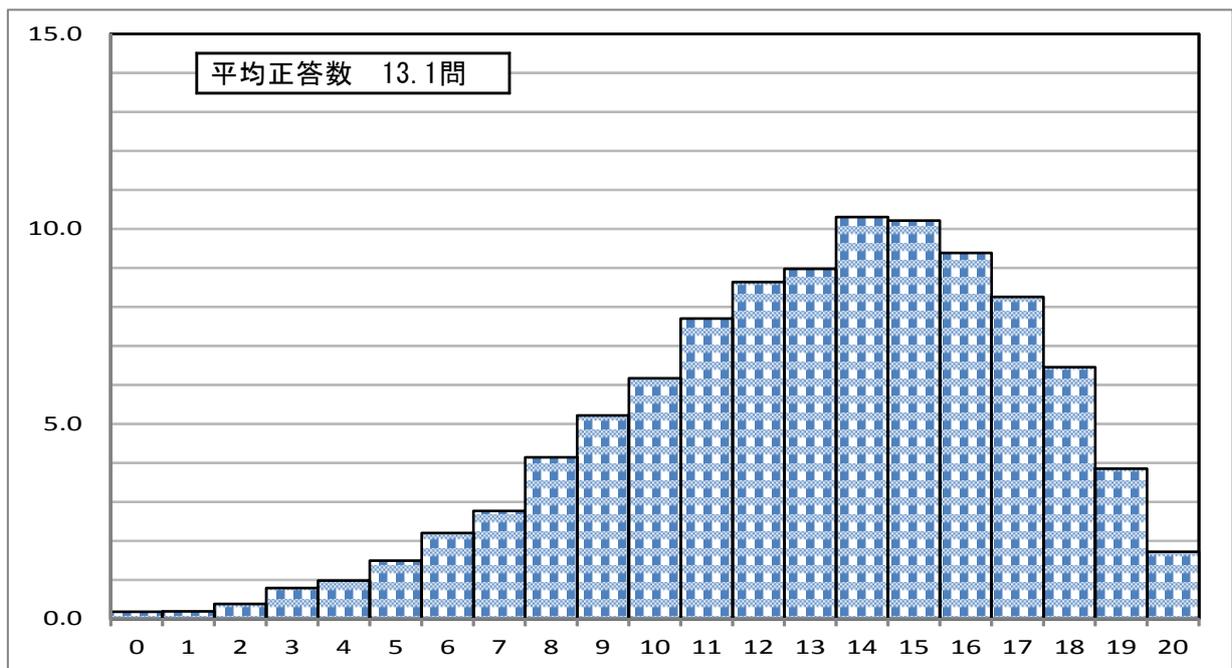
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	10,988 人
設問数	20 問
平均正答率	65.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	71.3
	主として「活用」	9	58.0
学習指導 要領の 領域等	物質	5	64.4
	エネルギー	4	61.1
	生命	6	78.0
	地球	5	54.2
評価の 観点	科学的な思考・表現	7	59.2
	観察・実験の技能	5	59.5
	自然事象についての知識・理解	8	74.2
問題形式	選択式	8	73.2
	短答式	7	67.6
	記述式	5	49.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 条件に沿った実験方法を理解することに成果が見られる。
 - ・予想が正しいときに得られる結果を想定すること (1)(2)80.4%)
- メダカのからだのつくりとその役割を理解することに成果が見られる。
 - ・メダカの子どもの腹の袋の中に、成長に必要な養分が含まれていることを理解すること (2)(3)88.9%)
- 時間の変化による星座の動きを理解することに成果が見られる。
 - ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解すること (3)(1)86.5%)
- 物体の形状で質量が変わらないことを理解することに成果が見られる。
 - ・アルミニウムはくのは重さは形を変えても重さが変わらないことを理解すること (7)(2)80.0%)
- 適切な乾電池のつなぎ方と電流の強さの理解について改善傾向が見られる。
 - ・条件にあてはまる乾電池のつなぎ方を類推すること (4)(1)57.1%)
H28小5 学力定着状況確認問題36.0%
「乾電池の直列つなぎについて基礎的な用語を理解し、作図によって表現する」
- 太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて考えることに課題が見られる。
 - ・方位から分かる太陽の動きと校舎の位置を関係付けながら考えることにより日当たりの最もよい場所を想定すること (1)(3)39.6%)
- 観察を通して学習した内容の理解を深めることについて課題が見られる。
 - ・星座早見の正しい使い方及び夏の代表的な星座について理解すること (3)(2)36.8%)
- 正しい方位磁針の使い方について課題が見られる。
 - ・方位磁針の正しい使い方を理解し、他者の誤った使い方を改善するための方法を説明すること (5)(1)34.2%)

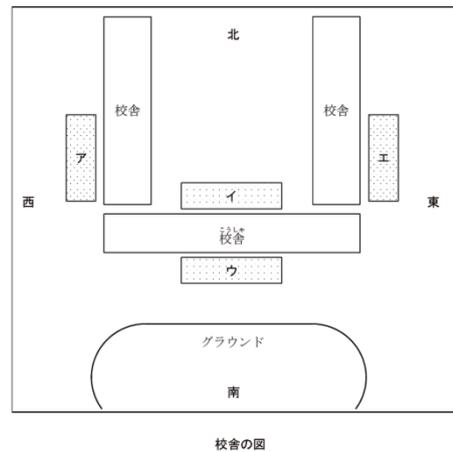
正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

● 太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて考えることに課題が見られる。

(3) 太郎さんと花子さんは、インゲンマメの成長には、日光が関係していることを学習しました。この学習を生かして、太郎さんたちはインゲンマメを植えたプランターをどこに置こうか考えています。どこに置くと最もよく育つでしょうか。次の校舎の図の^{こやし}アからエの中から一つ選んで、記号で答えましょう。また、選んだ理由を答えましょう。ただし、水は毎日十分に与えるようにします。



【正答例】

記号 ウ

理由 校舎の南がわは、もっとも日当たりがよいから。

小5 : 39.6%

● 正しい方位磁針の使い方について課題が見られる。

5 太郎さんと花子さんは、太陽の動きを観察しました。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

(1) 右の図1は、太郎さんが方位じしんを使って太陽の方位を調べているようです。そのようすを見た花子さんが次のように話しかけました。正しい太陽の方位を調べるためには、太郎さんは方位じしんの使い方をどのように直せばよいか、答えましょう。

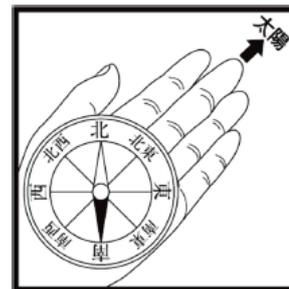


図1



太郎さんの方位じしんの使い方では、正しい太陽の方位が調べられないと思うわ。

【正答例】

方位じしんのはりの色のついた方を北にあわせる。

小5 : 34.2%